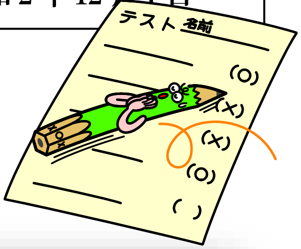
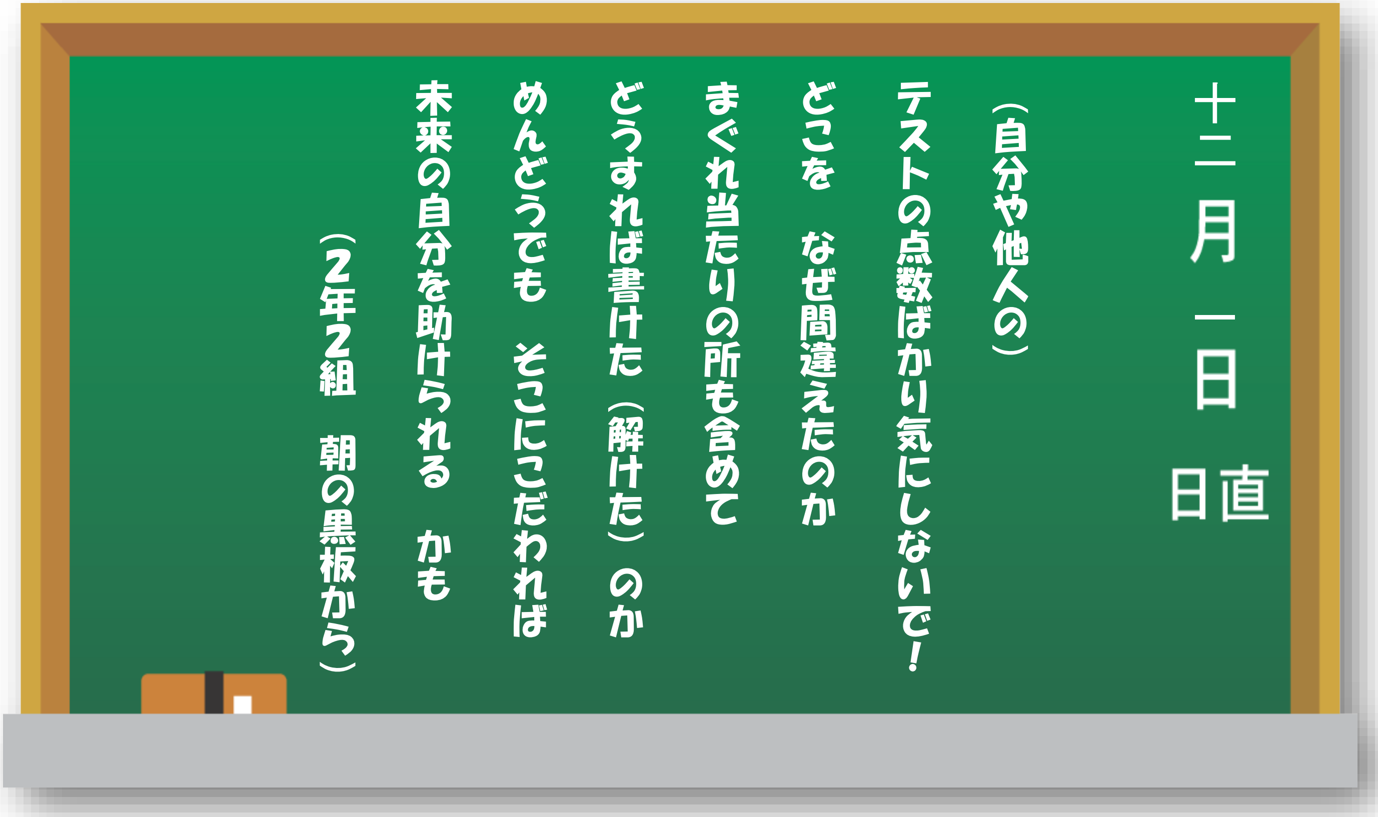
待ちに待った給食
食パン　白菜スープ
ハンバーグトマトソース
ツナ大根サラダ

ほぼ日刊　夢の華
カラット

第７６８号
神町中学校　夢色通信社
令和２年12月1日

未来の自分を助けよう





十二月一日
日直

（自分や他人の）
テストの点数ばかり気にしないで！
どこを　なぜ間違えたのか
まぐれ当たりの所も含めて
どうすれば書けた（解けた）のか
めんどうでも　そこにこだわれば
未来の自分を助けられる　かも
（２年２組　朝の黒板から）

神町中学校では２学期末テストの返却が始まった。教室をのぞいてみると、○※△＆◇？・・・。まさに阿鼻叫喚（あびきょうかん）のごとし。机に突っ伏している人。呆然（ぼうぜん）と宙を見つめる人。「こんなはずじゃなかった」「えっ！まさか・・・」と、涙を流している人の何と多いことか。そんな１・２年生に、３年生の草刈伊吹さんと柏倉望さんは、「３年生になって思うのは、いかに毎日毎日の積み重ねが大事かということです。その日に習ったところはその日のうちに復習する。テストで間違えたところはその場で覚える。これにつきます。」とアドバイスをしてくれた。また、３年生で数学を担当している尾形敦美先生も、「結果はきちんと受け止めなければならないが、まちがいをそのままにしておくから負の連鎖におちいってしまう。まちがったところは、まとめ学習の時間などを使って解けるようにしてほしい。そのままにしてしまうから、その先もわからなくなってしまう。このままじゃいけないと思う気持ちを持って、勉強を続けていくことです。」と話していた。涙を流していた人たちも、「このままでいい」とは思っていない人がほとんどであった。まちがったところを見直し、しっかりと理解する。わからなければ、先生や友達に聞く。そうやって、少しずつ前に進んでいくのだ。牛のように一歩一歩。そう考えると、この１週間は、テスト前よりも大事な時間なのかもしれない。未来の自分を助けるために。